

平成19年度 運営費交付金算定内訳

$$\text{○ 人件費} = \left(\text{直前の事業年度における基本給等予算額} \times \text{A1} \right) + \left(\text{直前の事業年度における基本給等のうち、昇給の影響をうけるもの} \times \text{B} \right) \pm \text{C} \pm \text{D}$$

* 基本給等 = 基本給 + 諸手当 + 超過勤務手当 + 共済組合負担金 + 児童手当拠出金

$$\begin{aligned} & \text{(A1)} & \text{(B)} & \text{(C)} & \text{(D)} & \\ & (2,655,303 \times 0.96) + (2,449,164 \times 0.468\%) + & 9,288 & + & 60,324 & = & 2,630,165 \text{ (千円)} \\ & & & \text{給与改定分} & \text{退職手当} & & \end{aligned}$$

$$\text{○ 物件費} = \text{直前の事業年度における予算額 (特殊要因による増額分を除く)} \times \text{A2} \times \text{E} \pm \text{D}$$

$$\begin{aligned} & \text{(A2)} & \text{(E)} & \text{(D)} & \\ & 911,262 \times 0.98 \times & 1.00 & \pm & 0 & = & 893,037 \text{ (千円)} \end{aligned}$$

$$\text{○ 基地従業員関係費} = \text{直前の事業年度における予算額 (特殊要因による増額分を除く)} \times \text{E} \pm \text{D}$$

$$\begin{aligned} & \text{(E)} & \text{(D)} & \\ & 680,302 \times & 1.00 & \pm & 0 & = & 680,302 \text{ (千円)} \end{aligned}$$

合計 4,203,504 (千円)

- A1 : 人件費効率化係数 (0.96)
- A2 : 物件費効率化係数 (0.98)
- B : 昇給原資産率 (0.468%)
- C : 給与改定分(俸給のベースアップ分 + 俸給以外の改定分)
- D : 特殊要因増減(人件費の特殊要因増減には、退職手当等が含まれる。)
- E : 消費者物価指数 (1.00)

平成19年度 運営費交付金算定内訳

○ 人件費 = (直前の事業年度における) + (直前の事業年度における基本給等の) ± C ± D
 基本給等予算額 × A1) ± (うち、昇給の影響をうけるもの × B)

* 基本給等 = 基本給 + 諸手当 + 超過勤務手当 + 共済組合負担金 + 児童手当拠出金

(A1) (B) (C) (D) = 2,630,165 (千円)
 (2,655,303 × 0.96) + (2,449,164 × 0.468%) + 9,288 + 60,324
 給与改定分 退職手当

○ 物件費 = 直前の事業年度における予算額 (特殊要因による増額分を除く) × A2 × E ± D

(A2) (E) (D) = 893,037 (千円)
 911,262 × 0.98 × 1.00 ± 0

○ 基地従業員関係費 = 直前の事業年度における予算額 (特殊要因による増額分を除く) × E ± D

(E) (D) = 680,302 (千円)
 680,302 × 1.00 ± 0

合計 4,203,504 (千円)

- A1 : 人件費効率化係数 (0.96)
- A2 : 物件費効率化係数 (0.98)
- B : 昇給原資産率 (0.468%)
- C : 給与改定分 (俸給のベースアップ分 + 俸給以外の改定分)
- D : 特殊要因増減 (人件費の特殊要因増減には、退職手当等が含まれる。)
- E : 消費者物価指数 (1.00)